

地域農業の

# 次代担う

J A就農支援センターでの1年間の研修を修了した第3期研修生4人が、それぞれJ A幹旋の遊休ハウス等を活用し、管内で就農しました。堤弘晴さんと宮内洋輔さんはトマト生産者として、豆塚正倫さんはイチゴ生産者としてそれぞれ新規就農し、農作業に汗を流しています。



トマト生産者  
堤 弘晴さん

トマト生産者  
宮内洋輔さん

イチゴ生産者  
豆塚正倫さん

3人がそれぞれの「農」へ

J A就農支援センター第3期生



トマト研修生は横溝伸生講師、イチゴ研修生は茅島博敏講師から1年間、熱のこもった指導を受けました。



# 未来のアグリスタ ～「農」への挑戦者たち～

- ①出身地 ②前職 ③趣味 ④ルーティン(毎日欠かさずしていること)  
⑤作付面積 ⑥今後の抱負



就農された第3期卒業生4人にインタビューしました！

- ①出身地 ②前職 ③趣味 ④ルーティン(毎日欠かさずしていること)  
⑤作付面積 ⑥今後の抱負

## 豆塚 正倫さん(40・立花町)

## イチゴ生産者

- ①小郡市②農業法人(イチゴ生産)③ランニング④毎日ハウスに足を運び、イチゴの生育状況を確認する⑤13a ⑥5年間で収量、収益ともに一人前になる！



自動かん水機を入れて安心していたら、1カ所チューブが折れ曲がっていて水が流れなくて一部枯らしてしまいました。それ以来、毎日必ずハウスに様子を見に来るようにしています。

広報誌で就農支援センターを知り、入所しました。支援センターで良かったことは、1番は茅島博敏先生と出会えたことです。トップレベルの技術を基礎からしっかり学ぶことができました。また、就農する上で不可欠な農地をJAに探していただけたのが良かったです。

就農1年目の今年を振り返ってみると、とにかく時間に追われバタバタでした。現在は、毎日虫たちと戦っています。今のところ、なんとか勝っていますが気を緩めず収穫までイチゴを守り抜きます(笑)。

周りの生産者さんたちからご指導もいただきますし、お互いの作業を手伝い合いながら農作業に励んでいます。農作業で疲れたときは、気分転換も兼ねて松尾さんや他の生産者さんのほ場を見に行くと、手伝ったり参考にしたりしています。

## 堤 弘晴さん(37・八女市)

## トマト生産者

- ①久留米市②飲食店(ハンバーグ店)③海釣り④毎日の晩酌⑤13a ⑥「あの時もっと頑張っておけば良かった」と後悔しないように自分にできることを全部出し切って農業に励みたいです！



知り合いのナス農家さんから就農支援センターを教えてもらい入所しました。それまで、家族と一緒に仕事ができる農業に憧れはあったのですが、家が非農家だと出来ないものだと思っていました(笑)。

1年間の研修で良かったことは、全ての農作業を実習させてもらえたことです。教えてもらって頭に入っても、実際に作業してみると、なかなか上手いかず難しいのですが、横溝伸生先生にその都度分かりやすく指導してもらえたので、就農してから初めて経験する作業はありませんでした。

周りの先輩方から長年の経験がなければ分からない、天候によって毎年変わる防除や施肥の適量、タイミングなどのアドバイスをもらって農業に励んでいます！



トマト栽培は毎日とにかく楽しいです。今後、作付け面積を2倍ぐらいに増やしたいです。

## 宮内 洋輔さん(33・筑後市)

## トマト生産者

- ①長崎県②IT関係(プログラマー)③腰痛を癒しに温泉へ(恋ぼたる、べんがら村)④毎朝コーヒーを作る(ほ場で生産者さんと一緒に飲む)⑤10a ⑥先輩方の指導をしっかり受け、部会平均以上の収量を目標に頑張ります！



結婚相手募集中です！農業が好きな女性いらっしゃいませんか～！



東日本大震災が起こったとき、私は埼玉県でプログラマーの仕事をしていたんですが、ニュースを見ながら「安心して食べられる農産物」について改めて考えさせられたんです。それからだんだんと自分の手でそんな農産物を作りたいという思いが強くなっていきました。JR博多駅で開催されていた就農相談会で就農支援センターを知り入所しました。

就農支援センターの良いところは、実習規模が実践的で丁度良いところです。あと、早くからJAトマト部会の生産者さんたちと知り合いになれたことも良かったです。

ベテラン生産者の方と一緒に育苗して定植した甲斐もあって、非常にたくましく育ってくれているので、12月中旬ごろの収穫が楽しみです！